

ガス燃焼機器には、 寿命があります。



お使いの機器は、
どのくらいたっていますか？

10年 点検・
たったら 取替えを!

※ガス燃焼機器の点検は有償となります。お使いのメーカーにお問い合わせください。



点検のススメ

ガス給湯器だって人間と同じように寿命があります。製品は、使用年数と共に故障が増え、場合により重大な事故につながるおそれがあります。人は病気になる前に、生活習慣病検査や人間ドックを受けますが、給湯器も点検を受けましょう。

人の場合(ヒューマン)



ガス給湯器の場合(マシーン)



ガス給湯器は、機器の設計を行う際に標準的に使用した場合10年と定めています。(設計標準使用期間) この10年を越えまると経年劣化のリスクが高まり、故障や不具合の起きることがあります。万が一の場合の備え、10年たったら点検または取替えをおすすめします。

点検のしくみと内容

法律で定められた特定保守製品(屋内設置ガス給湯器・ふろがま、石油給湯機)を対象とした点検制度と、法定の対象製品ではありませんが屋外設置ガス給湯器ではメーカーが自主的に「あしん点検」が布ります。どちらも10年前後使用した製品の経年劣化を専門的に検査、点検を行うもので、点検を受けることで安心して製品をご使用になることができます。(点検は有料となります)

点検制度対象製品



自主点検対象製品



点検の流れ



特定保守製品を購入しましたら所有権登録をお願いします。その他の製品の点検についてはメーカーまでお問い合わせください。



長期間使用した製品は、重大な事故発生のおそれがあります!

ガス給湯器 点検・取替えの目安は



動画でも紹介しています

●炎太郎シリーズ
ガス機器の経年劣化による事故のリスクについて解説します。



※上記特定保守製品以外の製品は、当該メーカーへお問い合わせください。

古いコンロは**火災**リスクに要注意!

全口にセンサーが付き、安全機能の充実したSiセンサーコンロへの

安心替えをおすすめします!

Siセンサーを正しく使って安心調理!



Siセンサーが安心を見守っています。

**温度センサーで過熱しすぎをストップ!
てんぷら油の自然発火を防ぎます。**



天ぷら油は約370℃で自然発火します。温度センサーはなべ底の温度を感知して約250℃になると、自動で火力を調整して自然発火を防ぎます。(通常使用時)

Siセンサーコンロ普及で火災事故が減少中!

ガスコンロ火災の件数推移



Siセンサーコンロは既に住宅の70%に普及しています*。コンロ火災は、このSiセンサーコンロの普及と共に年々減少、このコンロに搭載された過熱防止機能や消し忘れ防止機能など安全機能が有効にはたらいていると考えられています。

安心替えはお近くのガス器具取扱店、又はメーカーにご相談ください。

STOP! 火災

ガスコンロが原因の火災は

年間約**2500**件発生

そのほとんどが「調理中のうっかりミス!!」

✓ **今すぐチェック!!** わが家の **火災** リスク チェックリスト

1

調理中に
その場を離れて
しまったことがある

調理中は決してその場を離れない!
離れるときは火を消して。

2

コンロの近くに
燃えやすい物が
置いてある

コンロの周りに
燃えやすいものを
置かないこと。

3

火をつけたまま、
コンロ奥のものを
とろうとした

コンロの上や奥のものをとるときは
火を消して。防災エプロンなど
使用すればなお安全。

4

グリル庫内に
汚れがたまっている

グリルは定期的にお掃除を。
グリル掃除の方法は
動画でチェック!!



グリル掃除の方法は動画でチェック!!

長期間使用した製品は
重大な事故発生のおそれがあります!

石油燃焼機器には 寿命があります!!

給湯機 10年
暖房機 8年
経ったら点検・取替えを!!



点検・取替えで、
家族みんなが
安心、安全



長期間使用した製品は
重大な事故発生のおそれがあります!

石油暖房機は

寿命が

あります

8

年経ったら

点検・取替えを!!



石油暖房機にはPSCマークがついています。

高い安全性を備えた3つの改善

消費生活用製品安全法特定製品の基準に適合している印です。2009年以降の製造品にはPSCマークが付いています。

カートリッジタンクの口金安全性強化

給油時自動消火

不完全燃焼防止機能強化
(石油ファンヒーター)



一般社団法人

日本ガス石油機器工業会

<http://www.jgka.or.jp/>



経済産業省

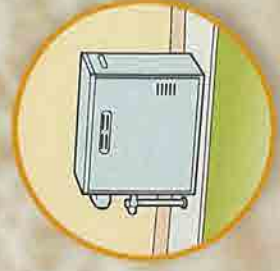
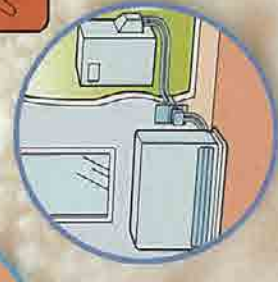
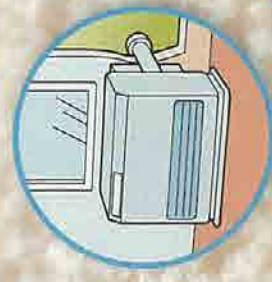
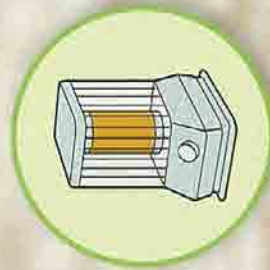
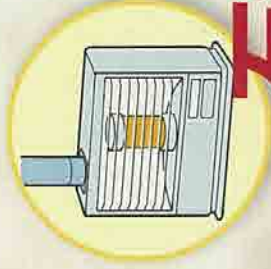
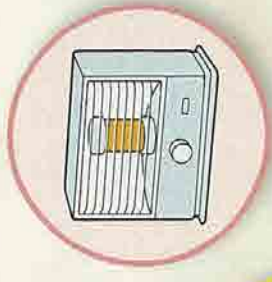
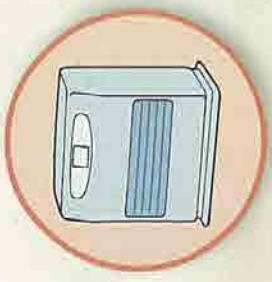


石油連盟



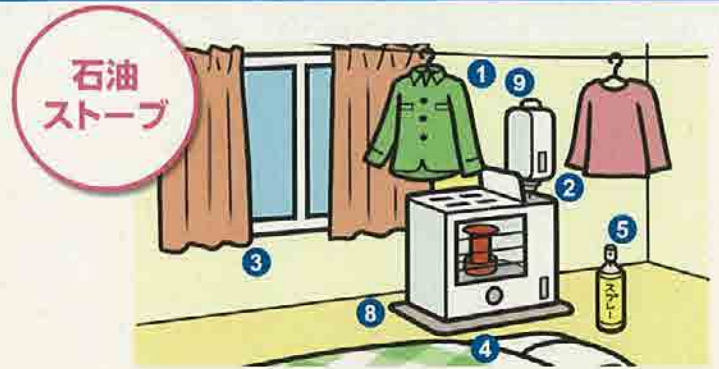
詳細はこちらをご覧ください

石油燃焼機器の Q&A



石油機器の安全チェックリスト

まずはご自分でできる点検を・・・



チェック項目	石油ファンヒーター	石油ストーブ	チェック結果	異常時の処置
① 洗濯物を上に干していませんか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		洗濯物は機器から離す
② 給油は火を消してから行っていますか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		必ず火を消して給油
③ カーテンの近くで使用していませんか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		機器はカーテンから離す
④ 機器の周辺に燃えやすいものや布団などはありませんか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		布団や燃えやすいものなどに近づけない
⑤ スプレー缶を近くに置いたり、近くで使用していませんか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		スプレー缶を機器の近くに置かない、使用しない
⑥ 温風空気取入口フィルターや燃焼空気取入口フィルターにほこりがついていませんか？	<input type="radio"/>	—		フィルターを掃除(定期的に)(※)
⑦ 温風吹出口にほこりがついていませんか？	<input type="radio"/>	—		温風吹出口を掃除(定期的に)(※)
⑧ 置台にほこりやゴミがたまっていますか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		置台を掃除
⑨ 不良灯油を使用していませんか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		不良灯油は使用しない

(※)取扱説明書を参照

少しでもおかしいと思ったらお買い上げの販売店または、専門業者の方にご相談ください。

点検については販売店、石油機器技術管理士の*のいるお店又はメーカー(お客様相談センター、サービスセンター等)までお問い合わせください。点検・整備は有料です。

* (一財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術講習会修了者



ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

不良灯油は使わないで!

不良灯油の見分けかた

不良灯油(変質灯油・不純灯油)は、絶対に使用しないでください。異常燃焼や故障の原因になります。



◆色が付いていない

- 透明なもの
- 不純物が混入していないもの
- 灯油の臭いがするもの



◆うす黄色になっている ◆すっぱい臭いがする

- 昨シーズンより持ち越したもの
- 温度の高い場所で保管したもの
- 日光のあたる場所で保管したもの
- 乳白色の容器で保管していたもの
- 容器のふたが開けてあったもの

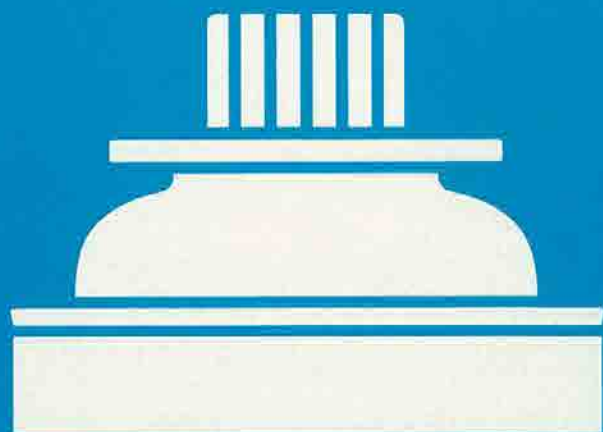


◆水が混入した場合は水が下に溜まる

- 水やごみなどが混入したもの
- ガソリン、軽油、シンナー、機械油、天ぷら油などが混入したもの
- 灯油以外を入れた容器に保存したもの
- 灯油水抜剤や助燃剤を添加したもの

※保管状態によっては、色が付いていなくても不良灯油になっている場合があります。

音がしたらまだ
ガスが残っているよ。
使い切ってから
捨ててね!



カセットボンベを
捨てる時は振って

「シャカ
シャカ」

音がしないか
確認してね!!

シャカ

■ 使用期限目安 ■

カセット
ボンベ 約 **7** 年



カセット
こんろ 約 **10** 年



ガス安全



一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

〒101-0047
東京都千代田区内神田1-5-12 北大手町スクエア3階
TEL. 03-6811-7370



トーチバーナーを お使いの皆様へ



誤った使用や、過度の使用、過酷な使い方をされますと器具の損傷やけが、火災など思わぬ事故の恐れがあります。安全にお使いいただくために点火動作をする前に下記の注意事項を必ずお守りください。

点火動作をする前には必ず、接続部またはガス調整つまみからガスが漏れていないかを確認してください。

特に使用頻度が高い、または購入後長期間経過しているバーナーは、内部のゴム部品の劣化などの恐れがあります。必ず使用前点検を行なってください。



禁止

次のような使い方は絶対にしないでください

両手に1台ずつ持ち、一度に2台同時に使用しない。

もう1台のバーナーのガスに影響を与え危険。



油や汚れが付着したまま使用しない。

油や汚れに着火し事故につながり危険。



容器(ボンベ)を装着したままのバーナーや容器(ボンベ)を火元の近くや、加熱される可能性のある場所に置かない。ボンベ脱着の際、回りに火気のないことを確認する。

熱で容器(ボンベ)が加熱されて爆発する恐れがあります。



次のような症状があればただちに使用をやめ、新しい製品に交換してください

容器(ボンベ)にしっかりと固定されず、ゆるみやガタつきがないこと。

接続部からガス漏れの可能性がある。



落下などで衝撃が加わりバーナー本体や容器が変形していないこと。

接続部からガス漏れの可能性がある。



変形やヒビがないこと。(ある場合はすぐに使用を中止してください。)

変形部からガス漏れの可能性がある。



注意

次のようなことにご注意ください

安全のため、ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解の上ご使用ください。

取扱説明書をお読みいただき、ご不明な点は、お買い求めになった販売店または製造元までご相談ください。



容器(ボンベ)は必ず指定された専用容器(ボンベ)を使用してください。

他の容器(ボンベ)を使用すると、ガス漏れる場合や、正常な使用ができなくなる可能性があります。



JIA 認証

一般財団法人 日本ガス機器検査協会の検査を受けている製品にはこのマークを表示しています

消 防 庁

Fire and Disaster Management Agency



一般財団法人 日本ガス機器検査協会
Japan Gas Appliances Inspection Association



一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

必ずお守りください



スプレー缶 (エアゾール缶)
カセットボンベは

必ず中身を
使い切りましょう!!



火災事故が多発しています!

中身の残ったスプレー缶、カセットボンベが
ごみに出されごみ収集車両や、ごみ処理施設で、
火災が発生しています。



スプレー缶の場合↓

▶正しいごみへの出し方 4step!

step 1

缶を手で振って
中身の有無を
確認してください。



step 2

「シャカシャカ」
「チャブチャブ」
など音がしたら、
まだ中身が残っています。

必ず使い切り
ましょう。

step 3

音がしなくても、まだ中身やガスが
残っている場合があります。

「ガス抜きキャップ」で
出し切ってください。

※火気のない風通しの良い屋外で行ってください。
※「ガス抜きキャップ」がない場合は、
スプレーボタンを押して完全に押し切ってください。

step 4

地域の
ごみ出しルールを
守って出しましょう。

